

留 学 報 告 書

留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ
留学期間	2019年8月～2019年12月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	45万円程度
保険料	4万円程度
宿舍費（1か月あたり）	8万5千円
食費（1か月あたり）	4万円程度
渡航旅費	12万円程度

滞在形態関連

1) 種類
寮。
2) 部屋の形態
相部屋（2人）。
3) 設備
シャワー、トイレ、キッチン、ランドリー、インターネット、宅配ボックス、プール。
4) 住居を探した方法
明治大学からの推薦滞在先一覧から選びました。

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
はい。
2) 現地で病院にかかったことはありますか？
いいえ。

3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
はい。
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？
はい。TB注射，麻疹・はしか・風疹混合ワクチン。
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
留学先の友人，日本にいる友人や家族。
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
治安は比較的良かったですが、やはり夜はなるべく出歩かない方が良いです。 現地の治安情報は、現地の友人に聞きました。 自転車を盗まれた時は、寮のスタッフに相談しました。
7) パソコン，携帯電話，インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
パソコンは必要なので日本で買ってから持っていきましょう。 携帯電話は、契約会社の利用休止を申請し、Amazonで格安SIMを購入し、現地で使っていました。（現地のSIMは高いです） 寮のインターネット接続は非常に悪かったので、集中して勉強したい時は近所のスタバに行っていました。
8) 現地での資金調達はどうに行いましたか？
クレジットカードのキャッシングを利用していました。
9) 利便性，買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？
比較的，ハワイは日本のものが手に入りやすいです。特に，ダイソーやドンキホーテなどがオススメです。 日本でしか手に入らない調味料（味の素，香味ペースト，酒，みりんなど）は持って行った方がよいです。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？
クレジットカード。
11) その他，生活等に関して参考となることがあれば教えてください。
インターナショナルカフェで友達づくりをすることができます。 教会ではご飯や様々な生活用品を無料で配っているところがあります。

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？

Uber。

2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？

はい。2週間に渡り、3回。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

履修した授業科目名

Introduction to Hospitality and Tourism

授業内容や試験、授業を受けた感想について

ツーリズム業界について、カテゴリーごと（飲食、航空、ホテルなど）に学習しました。授業は、ゲームズガイドというテキストとオンラインの文献を使い、ゲームやディスカッションなどを交えながら進みました。テストは4択問題が50～100問程度出ている、3回のミニテストと最後のまとめテストに分かれていました。ゲーム形式で学べ、クラス内の交流も多くいい授業でした。

履修した授業科目名

Tour Operations Management

授業内容や試験、授業を受けた感想について

バスガイドの実践的方法について学ぶものです。この授業の目玉は、バスを貸し切ったOahu島の1周ツアーです。この大きなツアーに向けて、授業内でバスガイドの基礎やハワイの歴史、文化、観光スポットを学びます。また、その知識を活かして、授業内でプレゼンすることでバスツアーの予行練習をしました。英語で面白いプレゼンをする練習になったと思います。

履修した授業科目名

Introduction to the World's Major Religions

授業内容や試験、授業を受けた感想について

この授業では、世界の主要な宗教とハワイの宗教について批判的思考（Critical Thinking）で考えていくものです。講義スタイルで、ディスカッションは一切ないので、先生の話をはっきり理解できるかがカギとなります。先生のユーモアの効いた喋り方が非常に良かったです。

試験は私が受けた授業の中で一番難しかったです。

履修した授業科目名
Beginning Acting I
授業内容や試験、授業を受けた感想について
演じることを目的とした授業です。座学ではなく、演技に関することを体を動かしながら学びました。最初は喋ることはせず、体の動きに関する授業が多いです。後半になってくると、独白や即興劇など実践的な課題が多くなります。
テストでは、台本が用意され、グループやペアで練習してみんなの前で披露します。
この授業は、日本人が私だけで、英語で話す機会が多く楽しかったです。

留学体験記

<p>留学しようと思った理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>留学をしようと思った理由は、前にも数週間程度の留学経験があったからです。そこで、海外生活を体験し、自分の中で大きく価値観が変わりました。オーストラリアに留学した時は、シャワーの時間が3分間と決められており、カナダでは、先住民族の文化を尊重することを学びました。大学の留学というと、何か海外の大学でしか学べないことを学びに行くというイメージがありますが、そういった海外に行って現地の生活を体験するという側面も見て、私は留学に行こうと考えました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>11月の最後の方には、大学間協定留学の募集期日があったので、10月の最初の週からリストにある大学の情報を調べ始めました。私は留学というものを体験として考えていたので、何を学びたいかというところで苦戦しました。そこで、1年生で履修した授業の中で自分が特に興味を持った分野を分析して、国際協力や異文化理解に特に興味があることがわかりました。しかし、漠然とした分野であったので、自分の行きたい大学を選ぶのはさらに難しくなりました。その結果、自分のやりたいことがはっきりとしないまま面接を受け、選考に落ちてしまったと考えます。1年の最初から、自分は何を学びたいのかという問いを常に持っていればこのようにはならなかったと考えます。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>留学前にはやはり、各大学のホームページに目を通していました。特に見ていたのは、その大学の特色とカリキュラムについてです。ヨーロッパの大学で、英語対応していないホームページがあり、苦労しました。また、留学先大学では同じ授業だけど教授が違うものがいくつかありました。サイト名は忘れてしまいましたが、教授を評価するシステムがあります。そこでは授業の難易度、教授の人柄などがわかり、履修を決める上で非常に参考になりました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）</p>	<p>まず、大学の立地・建物は非常に良いです。ダイヤモンドヘッドの麓にあり、大学からは海が一望できます。建物は、リゾートを意識した作りとなっていました。大学の雰囲気ですが、留学生と現地のアメリカ人との間には壁があります。特に、留学生が多い分、余計に留学生同士でグループになってしまい、留学生とアメリカ人の交流がなくなってしまっていました。大学ではインターナショナルサークルというものがありませんでしたが、そこも入ってい</p>

	<p>るのはほとんど留学生だけで、しかも韓国人と日本人しかいませんでした。そのため、現地の友達を大学で作るのは結構難しかったです。実際、日本人は大抵、日本人で固まるか、韓国人のグループに入るかの二択でした。私は、たまたま授業が2個かぶった現地のアメリカ人と友達になりましたが、その人は働きながら大学に通っていて忙しかったので、大学の外で会うことはなかったです。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>私が5ヶ月間滞在したカロテラスは、プール付きの学生寮でした。各部屋はユニットになっていて、バストイレ、キッチン、リビング、冷蔵庫は共用となっていました。初めの方は、寮の中でお菓子パーティー、ゲームパーティーなどの交流イベントが多くあり、そこで仲良くなることもありました。部屋のタイプは二種類あり、シングルとダブルがあります。私は、ダブルを選びましたが、プライベートがないのが嫌な人はシングルをおすすめします。住んでいる人は、スタッフ含め悪い人はいなかったです。周りも、バス停やレストランが充実していました。</p>
<p>留学先における交友関係</p>	<p>留学先の交友関係について、私は今回非常に運が良かったと感じています。まず、大学では日本人と韓国人の友達ができました。外でも頻繁に会い、楽しかったです。ベトナム人と現地の友達もいましたが、外に遊びに行くことはなかったです。日本人の友達は総じて、現地の友達作りに非常に苦戦していました。私が留学中に最も仲良くなったのは、寮でルームメイトだったチーザという人です。毎日生活を共にして、非常に仲が深まりました。また、チーザから紹介してもらった友達数人ともとても仲良くなりました。最後、みんなが空港まで見送りに来てくれた時は泣いてしまいました。チーザに会えて本当に良かったです。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>留学中で辛かったのは、最初の2週間です。まず、僕の部屋にはまだルームメイトのチーザが来ておらず、ずっと一人で過ごしていました。オリエンテーションに行き、日本人の友達しかできず非常に焦っていました。せっかく留学に来たのに、英語を全く話さないなんてことがあっていいのかと常に自問自答していました。しかし、チーザが部屋に入ってきて、向こうから話しかけてくれた時は、とても安心しました。そこからは辛いことは特になく、毎日が充実していました。</p>

<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>留学先の大学では、主にホスピタリティ・ツアリズム、宗教学、演劇の授業を取っていました。明治大学での授業と比べると課題は圧倒的に多いです。リーディング課題は週に60ページ以上、それにレポートなどの課題が定期的に加わり、授業時間外の学習は多かったです。特に宗教学では、専門用語が多く出てきたので、調べた単語はメモに残してテストの時などに活用できるようにしました。1番大変だったことは、演劇の授業で即興劇をやったことです。私以外みんな現地の学生だったので、ネイティブのスピードで会話が繰り広げられました。そこで躊躇せずに、積極的に会話に加わるようになるまでに英会話の上達だけでなく、意識の面で変わるまでに時間がかかりました。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>大学外で私が行った活動としては、まず日本語ボランティアをあげたいです。毎週土曜日に、ハワイ大学マノア校で行われている日本語の授業に、会話ボランティアとして参加していました。年配の方が多かったので、現地の友達を作りたいなという期待からは外れましたが、英語で日本語を教えるという貴重な経験になりました。他には、マノア校のキリスト教サークルのようなものに、現地の友達に誘われて参加し、教会の集会に参加したり、キャンプファイヤーをしたりしました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>私が声を大にして言いたいのは、自分があまりやりたくないと思っていることでも積極的に関わってみるということです。よく、Getting out of your comfort zone と言いますが、これをやることによって何より自分の視野が広がります。ある日現地の友達に誘われてプロテスタントの教会に行った時、自分の宗教に対する価値観が大きく変わりました。私はそれまで宗教に対して、なんでそんなに非科学的なことを信じているのかと嘲っていました。が、実際教会に行ってみるとこれほどいいコミュニティは存在しないなと考えるようになりました。プロテスタントの集会がどう感じるのかは、実際に自分で行ってみて確かめてみてください。</p>